

**【問 1】**

- (1) B はたらきたくない
  - (2) B もとめていない
  - (3) A ひきとめられる
  - (4) A にてくる
  - (5) A ほぼおなじ
  - (6) B なっとくできない
  - (7) B えらんでいなかった
  - (8) B たのしんでできない
  - (9) B はたらきたくない
  - (10) B もらえない
- 

**【問 2】**

- 開幕：かいまく
- 準備：じゅんび
- 加速：かそく
- 有償：ゆうしょう
- 波紋：はもん
- 時給：じきゅう
- 業務：ぎょうむ
- 内容：ないよう
- 無償：むしょう
- 酷似：こくじ
- 一緒：いっしょ
- 求人：きゅうじん
- 募集：ぼしゅう
- 仕事：しごと
- 会場：かいじょう
- 輸送：ゆそう
- 医療：いりょう
- 期間：きかん
- 資格：しかく
- 経験：けいけん
- 専門：せんもん

---

**【問3】**

The article discusses the controversy surrounding paid staff and unpaid volunteers for the Tokyo Olympics. While a large number of volunteers were recruited, the organizing committee also sought paid staff with similar responsibilities. This led to criticism that the system was unfair, as both groups were expected to perform similar tasks despite differences in compensation. Some people felt dissatisfied, arguing that it was unreasonable to work without pay under such conditions. Experts pointed out that volunteers should be properly valued and that clearer distinctions between paid and unpaid roles are necessary.

---

**【問4】**

この記事は、東京オリンピックにおける有償スタッフと無償ボランティアの関係について論じている。大会組織委員会は多くのボランティアを募集する一方で、有償スタッフも同様の業務内容で募集していたため、両者の扱いに対する不公平感が指摘された。無償で働くことに疑問を持つ声や、条件に納得できないという意見も見られた。専門家は、ボランティアの価値を適切に評価し、有償スタッフとの役割や待遇の違いを明確にする必要があると指摘している。

---

**【問5】**

もし私がオリンピックのボランティアに申し込んでいてこのニュースを知ったなら、不公平だと感じると思う。無償で働くボランティアと、ほぼ同じ仕事内容を有償スタッフが担うのであれば、労働条件に大きな差があることに疑問を抱くからである。もちろん、ボランティアは社会貢献や経験を目的として参加するものであるが、その前提として、役割や待遇の違いが明確であることが必要だと考える。もし説明が不十分であれば、参加者の不満や不信感につながる可能性がある。そのため、応募者に対して十分な情報提供がなされるべきであり、納得した上で参加できる環境が重要であると考えます。

---

**【問6】**

この問題を解決するためには、まずボランティアと有償スタッフの役割や責任を明確に区別することが必要である。仕事内容が大きく異なるのであれば問題は少ないが、同様の業務を担う場合には、待遇の違いについて十分な説明が求められる。また、ボランティアに対しても交通費の支給や食事の提供など、最低限の支援を行うことで、負担を軽減することができる。さらに、ボランティア活動の意義や価値を明確に示し、参加者がやりがいを感じられる仕組みを整えることも重要である。このように、透明性と公平性を確保することが、問題解決につながると思われる。